

# 経営比較分析表

佐賀県 小城市

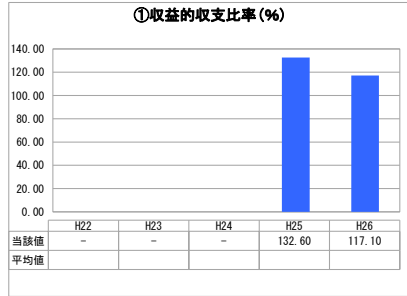
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	11.89	100.00	2,970

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
46,003	95.81	480.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,448	0.30	18,160.00

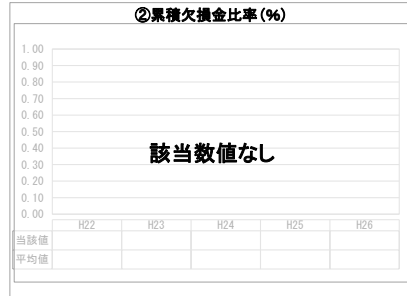
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

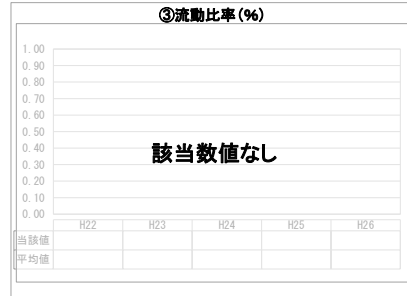
## 1. 経営の健全性・効率性



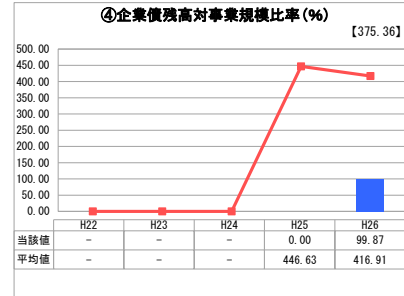
「単年度の収支」



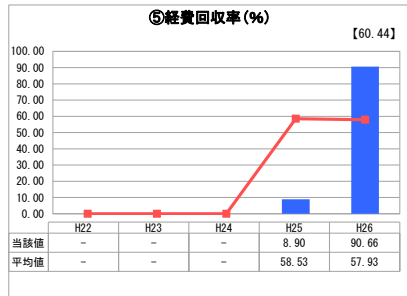
「累積欠損」



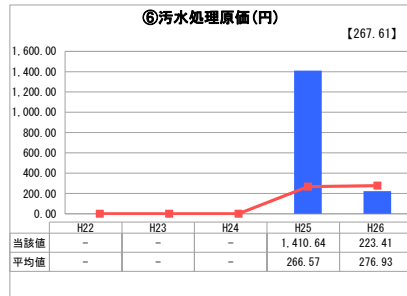
「支払能力」



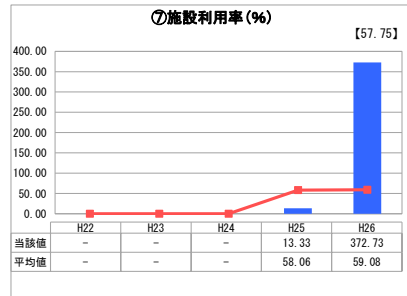
「債務残高」



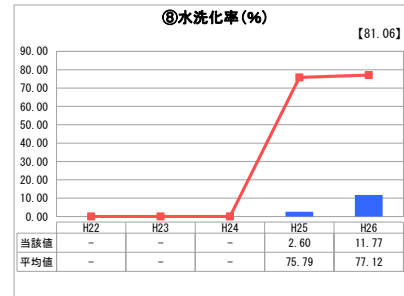
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

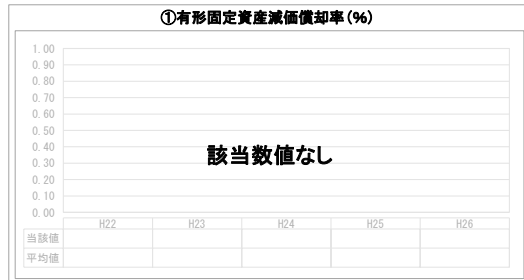


「施設の効率性」

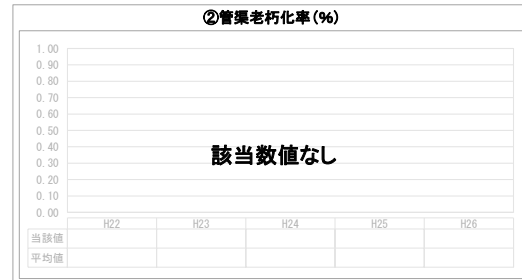


「使用料対象の捕捉」

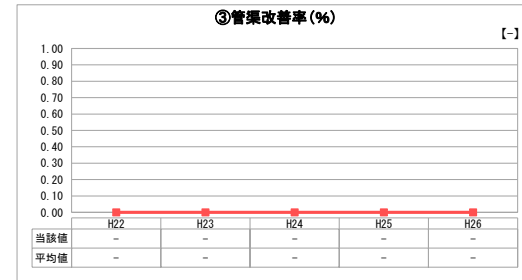
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

当市の特定地域生活排水処理について、収益的収支比率が100%を超えており、企業債残高対事業規模比率が類似団体と比べて著しく低い水準になっており、経営の健全性・効率性が確保されているように思える。しかし、起債借入れを平成26年度から行っており、今後起債の償還により歳出の増加が見込まれるので経営改善を図っていく必要があると考えられる。

また、経費回収率、汚水処理原価、施設利用率はいずれも類似団体と比較して効率的な状態なので維持していきたい。

水洗化率については平成25年度からの事業開始という事もあり、低い水準となっている。

### 2. 老朽化の状況について

当市の特定地域生活排水処理には市が浄化槽を設置するものと個人が設置した浄化槽を市に帰属するものがある。

当市で設置した浄化槽については、平成25年度に事業を開始したため法定耐用年数を経過したものはない。

しかし、帰属した浄化槽については帰属時にプロアの交換や補修工事を行ってもらっているが、老朽化が進んでいるものもある。

### 全体総括

今後、起債残高の償還や浄化槽の修繕などにより歳出の増加が見込まれる。そのため、事業が進み、ある程度浄化槽が増えてきたところで、現在個別委託している浄化槽の維持管理を集約して委託するなどして維持管理費の削減に努めていきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。